

地域の特性を生かした 避難所運営対策



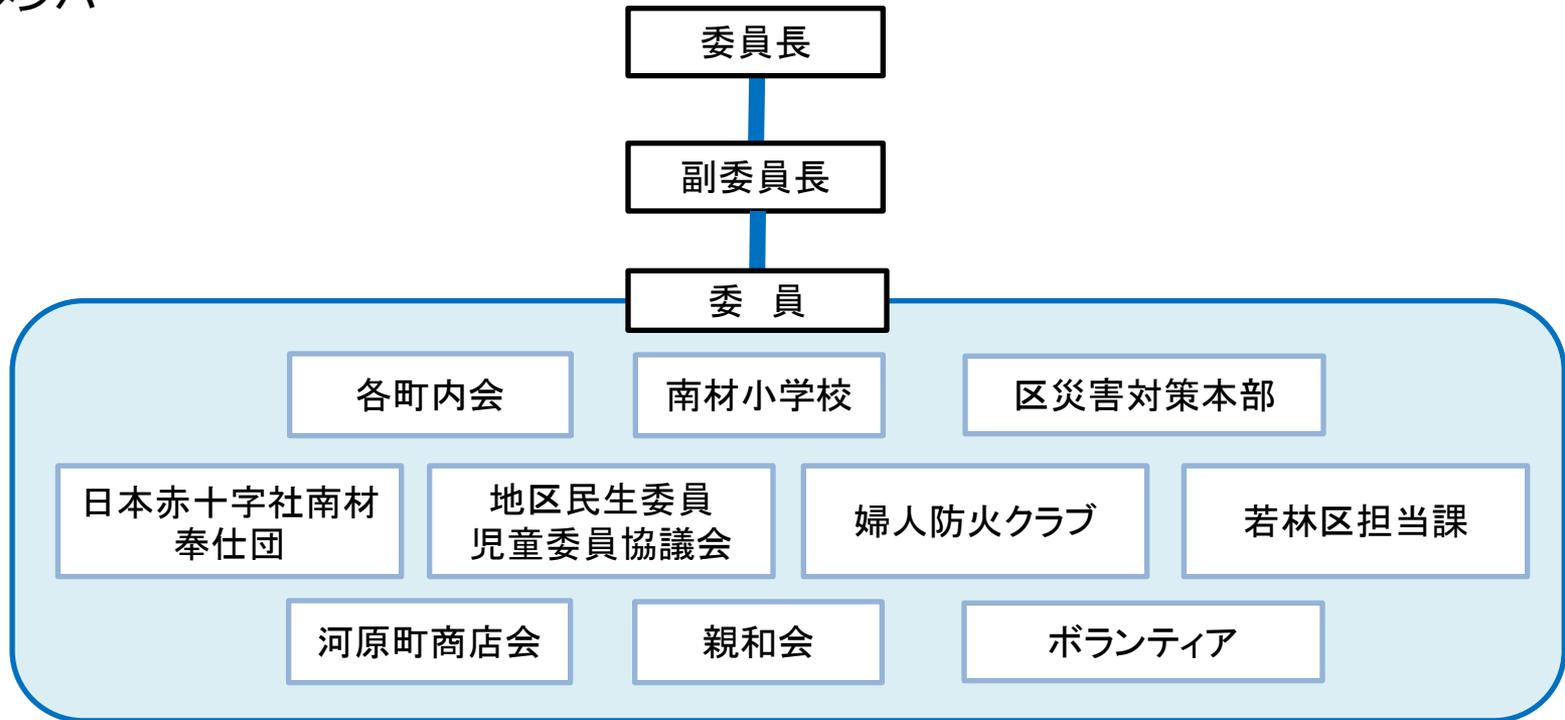
若林区南材地区町内会連合会会長 菅井 茂



3月12日 朝 避難所の様子

南材木町小学校避難所運営委員会 3/11～3/21

■メンバー



■係分担

総務	若林区、南材小学校・地区民生委員児童委員
庶務	若林区、南材小学校
食料物資	地区民生委員児童委員、河原町商店会
給食	婦人防火クラブ、日本赤十字社南材奉仕団
給水	避難者ボランティア、親和会
救護	避難者ボランティア(看護師)
衛生	避難者ボランティア、南材小学校
警備	南材小学校、河原町商店会



3月12日 避難所運営委員会



3月14日 朝 朝食の配布

南材地区自主防災行動計画

第1章 初期行動

1. 地震及び水害発生後、直ちに自分の安全確保し、その後家族の安全を確認する
2. ラジオ・テレビ等による情報の確認に努める
3. 震度 6 以上の場合、町内会長は町内会会員の安否確認と町内の状況を把握する
4. 前項の場合、町内会長（又は代理人）は速やかに災対本部（南材小学校体育館 2 階）に報告する（目安は 1 時間以内）
5. 避難勧告または指示が出たら、町内会長（又は代理人）は一時避難所に町内の住民を集め、集団で指定避難所に移動する。その際要援護者には支援者等が付き添うこと【水害等一刻を争う場合は、家族単位等で速やかに指定避難所に移動、この場合も要援護者に支援者等が付き添うことが望ましい】
6. 集団で避難する際、防犯対策として留守番役を数名残す【水害等で、全員避難の場合は不要】

第3章 避難所の開設

1. 施設長（南材小・八軒中・南材コミセン）並びに災対本部長等は施設の安全を確認する
2. 災対本部は、周辺の被害状況を把握する
3. 避難者の避難場所の割り振り（事前に指定しておく）
4. 避難者の受付（町内会長を通して名簿の一覧表を作成）
5. 災対本部長のもとに避難所運営委員会を設置する

第4章 避難所運営委員会

1. 運営委員会には、次の係をおく
 - ①委員長（副本部長）
 - ②副委員長
 - ③施設管理者（校長等）
 - ④総務係
 - ⑤受付・名簿係
 - ⑥情報係
 - ⑦救護係
 - ⑧保健衛生係
 - ⑨給食係
 - ⑩相談所
 - ⑪記録係
 - ⑫その他
2. 運営委員の指定と役割分担（事前に決めたものを避難所に置いておく。但し本人が不在の場合は代替りの者を指定する）
3. 飲料水・食料・毛布等物資の確認（年に1回はチェックし、常に3日分を確保するよう努める）

南材地区総合防災訓練の歩み

平成17年度	・ 仙台市の総合防災訓練の指定
平成20年度	・ 八軒中学校会場で防災訓練 ← 南材小学校の校舎改築
平成21年度	・ 「避難所運営」訓練を始める
平成22年度	・ 南材小学校の校舎落成式・祝賀会
平成23年度	・ 3か所の避難所開設と町内会ごとに避難所を指定
平成24年度	・ 直下型地震発生による洪水発生に伴う2段階避難実施日を土曜日とし、南材小学校は登校日とする
平成25年度	・ 八軒中学校生徒が部活動単位で参加 ・ 福祉的避難所の南材コミセンへの災害時要援護者の避難誘導 ・ 「昭和市電通り」命名記念式典(10月15日)
平成26年度	・ 避難訓練後、南材小学校(1か所)に集まったの各種訓練 ・ 児童の引き渡し訓練を取り入れ、保護者も訓練に参加
平成27年度	・ 訓練参加範囲を八軒中学校区に拡大 ・ 八軒中学校と南材・若林・古城小学校は登校日とする → 「八軒中学校区総合防災訓練」

平成27年度 「八軒中学校区総合防災訓練」



平成29年度総合防災訓練係分担一覧

1 南材地区災害対策本部:

本部長、副本部長、施設管理者(南材小学校長、八軒中学校長)、仙台市指定動員

2 避難所運営委員会:

■南材小学校

- ・委員長
- ・副委員長
- ・施設管理者(南材小学校長)

■八軒中学校

- ・委員長
- ・副委員長
- ・施設管理者(八軒中学校長)

班	班長	班員
総務班	民生委員	仙台市担当課
受付・名簿班	元PTA、 仙台市地域防災 リーダー	中学生
情報班	元PTA	中学生、仙台市担 当課
救護班	地区社会福祉協 議会	南材小学校養護 教諭、中学生
保健・衛生班	町内会	八軒中学校、南材 小学校
食料・物資管理班	仙台市地域防災 リーダー、 婦人防火クラブ	日本赤十字社、 町内会、中学生
誘導班	元PTA	町内会、中学生
相談所	町内会	老人クラブ連合会
写真・記録係	八軒中学校教員	中学生

班	班長	班員
総務班	町内会	町内会、仙台市担当 課
受付・名簿班	町内会、中学校教員	中学生、指定動員
情報班	元PTA	町内会、中学生、 仙台市担当課
誘導班	南材地区子ども会育 成連合会	中学生教員、中学生



役員と中学生の事前打ち合わせ会



小学校の教員と地域の住民・中学生が一緒にテント張り







キャベツ

カルゲン会さしき

仙台市若林消防

まとめ

1. 避難所運営(自助・共助)には、多才な人材の活用が大切→訓練には、多様な人材(含. 公的人材=公助)の参加が必要

2. 課題

①地域と公的人材との顔の分かる関係の構築

②地元企業の参加